

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	帝京短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	テイキョウタンキダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ、インターンシップ事前指導
	学部・研究科等名	生活科学科
	担当教職員名・役職	桜井 正 専任講師
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	37
	受入企業等数	15
受入企業等名	(株)富士リハビリテーション、フレックスジャパン(株)、ウッドオフィス(株)、(株)AOKI、(有)ネバーロード、(株)ミドルウッド、(株)ユニフロー、帝京大学医学部付属病院、(株)帝京サービス、宿中屋、アトム(株)、(株)スーパーヤマザキ、社会福祉法人よつば苑、(株)ジールワールドワイド、(株)セブンイレブン	
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業・団体などで実際に働くことで、業界を理解することはもとより、会社を知り、仕事の内容を理解することにより、自身の能力、スキル、適性が見極めが可能となってくる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	3
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ関連の必修科目として『インターンシップ2単位』『インターンシップ事前指導1単位』の2科目が配置されている。インターンシップ事前指導にて、インターンに出かける前の事前準備をおこなう。具体的には、インターンシップの目的と目標を考える。先輩のインターンに関するモデリング、自己理解作成シート作り、業界・仕事理解については、インターンシップ先の企業に授業参画してもらい、事前に調べた企業研究シートの深堀をしていく。あとは、ビジネスマナー、就活マナーのトレーニングを授業内でおこなう。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	インターンシップ先の企業に授業に参画してもらい、インターンシップを行う意図を説明した上で、会社の説明、仕事の説明を行っている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 4.その他

要素③	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	インターンシップの成果報告をパワーポイントにまとめ、1学年下の学生に向けてプレゼンテーションをおこなう。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に、教員がインターン先を訪問し、業務内容の履行具合を企業に確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ事前指導にて、マニュアルを配布し、インターンに出かける前の事前準備をおこなう。具体的には、インターンシップの目的と目標を考える。先輩のインターンに関するモデリング、自己理解作成シート作り、業界・仕事理解については、インターンシップ先の企業に授業参画してもらい、事前に調べた企業研究シートの深堀をしていく。あとは、ビジネスマナー、就活マナーのトレーニングを授業内でおこなう。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学習においては、①「インターンシップ日誌」②「インターンシップ評価表」③「インターンシップ成果報告」(PPTにて)にておこなっていく。①はインターン期間中毎日記述、及び全日程終了後コメントを書き、それを実習担当者に見て頂き、アドバイスを頂く。②はインターン終了後の成績評価を企業の方に採点してもらう。③はインターンシップにでかけた成果と課題をPPTにまとめ発表する
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1においては、「インターンシップ日誌」にて日々の業務を振り返り、企業からのコメントをもらう。また翌日の準備をおこなう。2においては、インターン実施前に期末レポートでインターンに出かける意味を確認している。3.においては、「インターンシップ評価表」において評価基準を整備し、教員間で共有している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	働きたい業界が決まっている場合や複数の業界を見てみたいという意欲的な学生には、単位付与とは別に、パーソナルな手配をおこなっている	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2について、授業内に企業が参画し、業界理解、仕事理解を促している。また事前には学生は企業研究をおこなうよう指導している。4インターンシップ日誌、面談、インターンシップ評価表を通じて学生に対する評価を実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	「インターンシップ事前指導」 <a href="http://www.info.teikyo-jc.jp/syllabus/detail.aspx?jn=2018&amp;jc=12163050">http://www.info.teikyo-jc.jp/syllabus/detail.aspx?jn=2018&amp;jc=12163050</a> 「インターンシップ」 <a href="http://www.info.teikyo-jc.jp/syllabus/detail.aspx?jn=2018&amp;jc=12106010">http://www.info.teikyo-jc.jp/syllabus/detail.aspx?jn=2018&amp;jc=12106010</a>
問い合わせ	大学等名	帝京短期大学
	担当部署名	生活科学科 生活文化コース
	担当者役職名	専任講師
	担当者氏名	桜井 正

1 せ 先	電話番号	090-6515-5672
	メールアドレス	tsakuai0723@yahoo.co.jp